

アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開

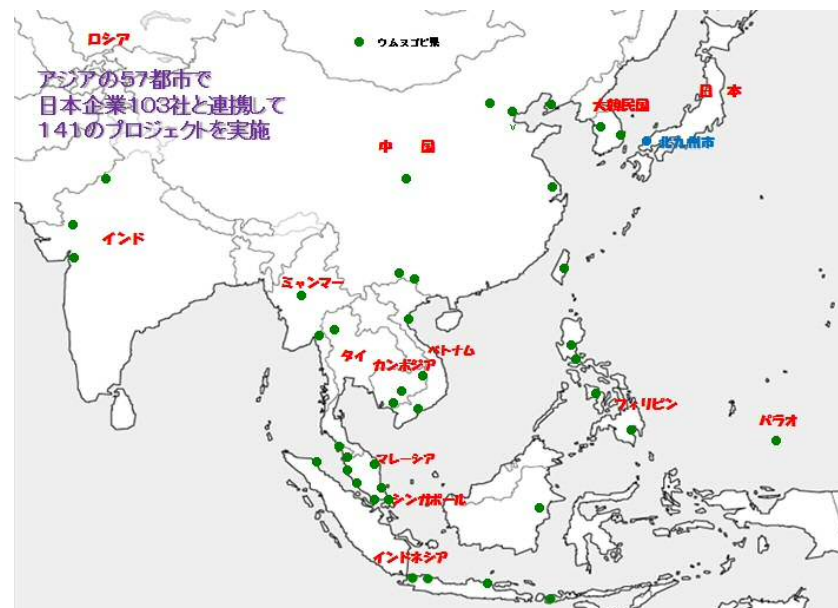
○ 主な取組状況

■ 平成28年度実施の主なプロジェクト

- インドネシア・スラバヤ市における低炭素化プロジェクトの面的拡大のための基盤構築調査事業
- ハノイ市(ベトナム)・低炭素化促進事業(エネルギー分野)
例：電気バスの実証走行
- タイ・ラヨーン県・都市廃棄物管理及びエコシカ・インダストリアル・タウンの低炭素化推進事業
- JCM推進に向けたイカンダール(マレーシア)・モテルプロジェクト推進事業

■ 主な成果

- 雇用創出：5名
- 国等の資金獲得：約41.4億円
- JCM設備補助事業採択：
 - ・ 高効率ターボ式冷凍機によるショッピングモール省エネルギー事業
 - ・ 衛生陶器生産工場への高効率焼成炉の導入 他
- IIM・アイ・コンサルティング(株)と「都市インフラ輸出の推進等に関する包括連携協定書」締結(平成27年7月)



包括連携協定締結式

アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開

○主な取組状況

H28年2月 JICA中小企業海外展開
支援事業に採択

～ベトナム国6都市でU-BCFの
実証実験を開始～

案件名：ベトナム国上向流式生物接触
ろ過を活用した浄水処理の
普及・実証事業

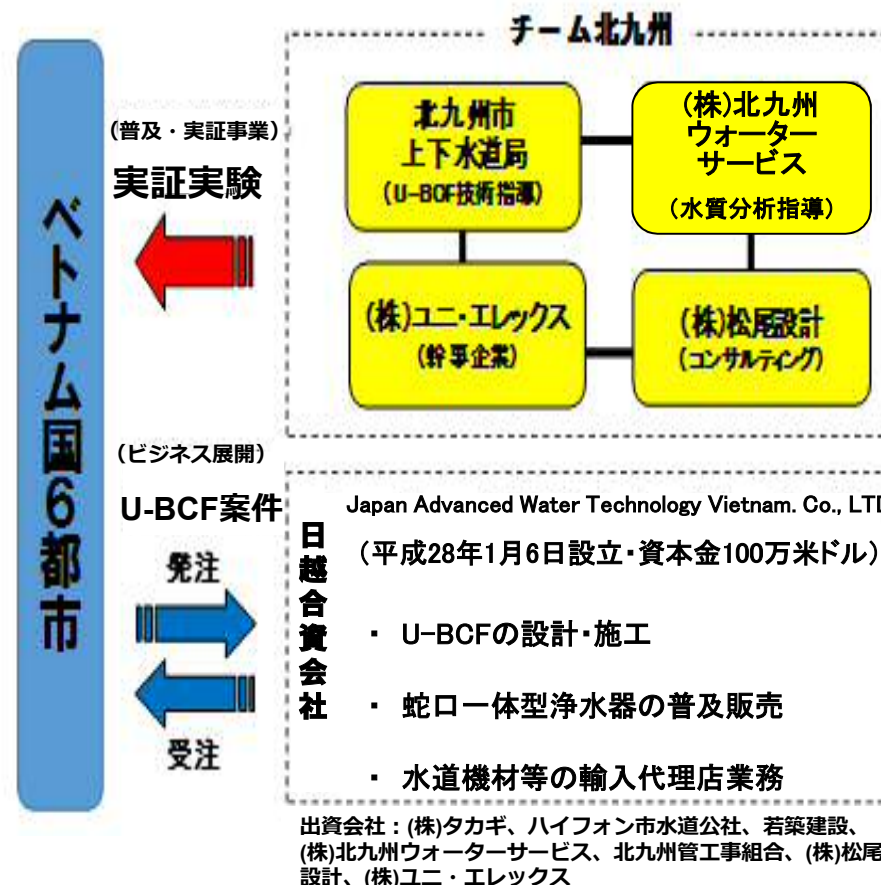
契約期間：H28年2月～H31年2月

受注者：(株)ユニ・エレクトクス
(小倉南区)

◆北九州市が開発したU-BCFの技術を普
及させていくことで、ベトナム国の水道
水質の問題解決と、本市及び地元企業の
新たなビジネスチャンス創出を目指す。

◆「チーム北九州」でU-BCF技術を ハイフォン市からベトナム各地へ

(H25年12月ビンバオ浄水場導入)



北九州発ブランドの海外ビジネス支援

○北九州の食品 海外展開支援事業

- ・ 事業規模・・・約300万円
- ・ 取組内容及び成果
 - ①台湾バイヤー招聘商談会 (H28.10)
 - ②香港ビジネスセミナー&
バイヤー招聘商談会 (H29.1)
 - ③タイ・バンコク現地商談会 (H29.1)
 - ④シンガポールバイヤー招聘商談会
(H29.2)

市内参加企業：のべ20社
商談件数：45件
継続案件数：32件

香港バイヤー招聘商談会 (市内農水産物現地視察)



タイ・バンコク現地商談会 (ビジネスネットワーキングプログラム)



北九州発ブランドの海外ビジネス支援

○主な取組状況

■「北九州市・ハイフォン市中小企業経営者 交流事業」H28年10月11日(火)～14日(金)

- ・市長表敬訪問
- ・両市の企業経営者による事業紹介
- ・本市の企業視察
- ・座学受講、展示会視察及び懇親会等

・参加企業数

北九州市側： 10社

ハイフォン市側： 8社

◎今回の事業を契機として両市各企業間での
商取り引きに興味を示す動きあり



市長表敬訪問



事業紹介



企業視察

IV グローバル需要を取り込む 海外ビジネス拠点の形成



33

産学官を巻き込んだドイツとの地域間経済交流

○ 主な取組状況

■ Jetro地域間交流事業

(Regional Industry Tie-up:RIT)

(H27年4月～)

「北九州市－ドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク州（BW州）との協業による新たな市場開拓・ビジネスモデル構築」

- 派遣ミッション団の相互訪問
H28.7.5-7 ドイツ訪問団来北
H28.11.7-10 北九州訪問団ドイツ訪問
⇒ドイツ企業との共同研究開発2件着手
- BW州主催によるIndustry4.0セミナー
H28.9.7 開催
- 北九州高専とBW州大学間で交流MOU締結
北九州高専からドイツへ学生を派遣(H29.3～)

ドイツ企業による市内企業 訪問



ドイツでの企業・研究機関 訪問



製造業のための「インダストリー4.0」 実践セミナー



V 地域エネルギー拠点の形成

○高効率火力発電

【バイオマス・石炭混焼火力発電】

響灘エネルギーパーク(11万kW) 建設中

響灘火力発電所(11万kW) 建設中

建設工事着工

【バイオマス専焼火力発電】

優先交渉事業者2社決定(5万、3.7万kW)

【LNG火力発電】

西部ガス(160万kW) 環境アセス中

○風力発電

H27.3 環境省モデル事業採択

H29.2 優先交渉事業者決定

(最大44基 22.8万kW)

○エネルギーマネジメント

H27.12 地域エネルギー会社

「(株)北九州パワー」の設立

H28.4 「(株)北九州パワー」電力供給開始

○水素エネルギー

H28.4 スマート水素ステーションにて、
再エネからの水素製造実証開始

響灘エネルギーパーク合同会社



西部ガス(株)

(株)響灘火力発電所

環境省「風力発電等に係る地域主導型の
戦略的適地抽出手法の構築モデル事業」

(株)北九州パワーの設立



若年者の就業意識の啓発や能力開発・就職活動への支援

○主な取組状況

地元企業の魅力を伝える
キャリア教育イベント

「北九州ゆめみらいワーク」を開催！

- 開催日：平成28年8月26日(金)～27日(土)
- 会場：西日本総合展示場
- 対象：大学生、中高生、保護者、教員等
- 来場者：6,485名(2日間)
- 出展者：131ブース(企業、団体、学校)
- 場内開催イベント
- ①みらい教室体験ブース
- ②高校生マーケット
- ③こまバトル(出場チーム：企業5、学校7)
- ④クリエイティブ起業家、地元経営者等の講演
- ⑤地元中学生による発表(市内中学校3校)
- ⑥高校教員、保護者、大学生のための特別講演



能力や意欲を生かした中高年齢者や障害者の就業促進

○主な取組状況

平成28年8月29日
全国で初めてとなる
「シニア・ハローワーク戸畑」
をウェルとばたに設置

市と国との連携により概ね50歳以上の
求職者に対する重点的な就職支援を行う

○50代からの就業相談窓口を設置
(全国初)

○50歳以上の求職者に特化した専門端末を
設置 (全国初)

○50歳以上の求職者に対して再就職の
ガイダンスを実施



能力や意欲を生かした中高年齢者や障害者の就業促進

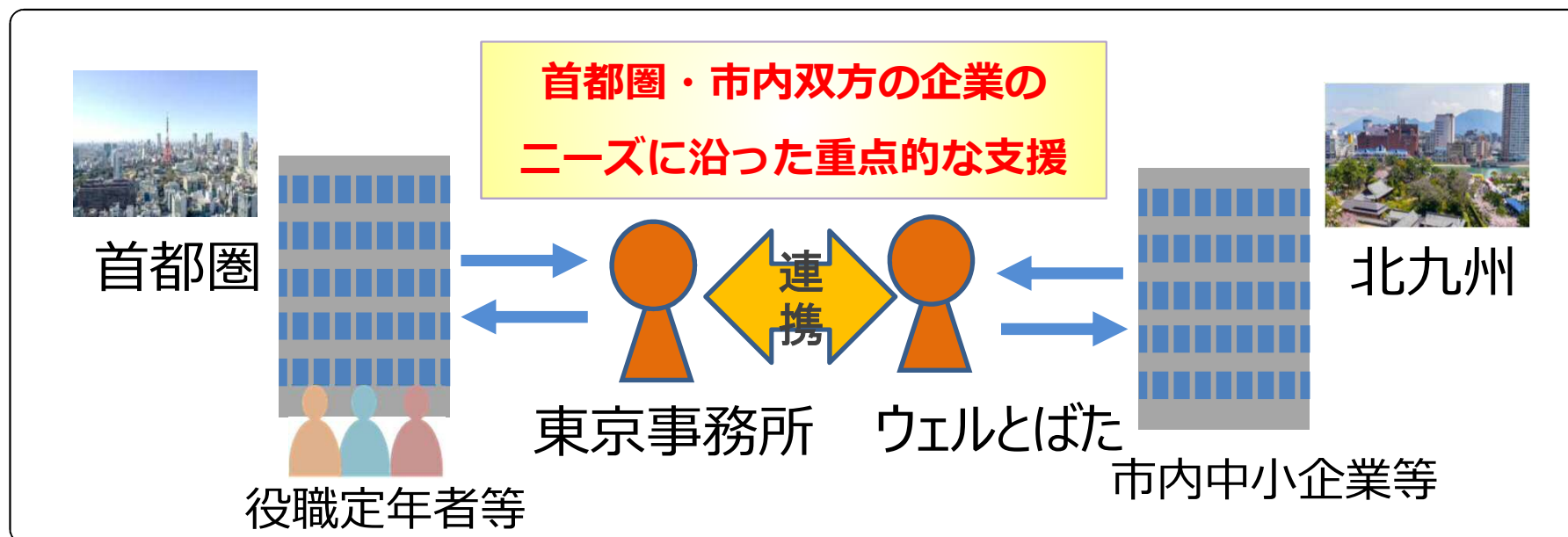
○主な取組状況

シニア・ハローワーク戸畑と連携し「セカンドキャリア支援プロジェクト」を実施

○東京・北九州それぞれに支援員を配置

○首都圏企業、市内中小企業等の潜在的ニーズを把握・提供

○シニアインターンシップ・お試し転勤の実施、東京事務所にハローワーク端末の設置



女性が輝く社会へ

女性の活躍推進



ウーマンワークカフェ北九州の開設 (AIMビル)



②就業継続・
キャリアアップ支援

①就業支援



③創業支援

④子育て支援

国・県・市が一体となり、女性の“はたらく”を
ワンストップで総合的に支援！

⇒開設により新規利用者数約 **50%**増加

医療・介護・福祉、子育て支援分野での雇用創出

○主な取組状況

- 介護保険サービス事業所の新設
(平成28年度：106ヶ所新設・増床、
雇用創出473.5名)
※兼務は0.5人換算
- 障害福祉関連サービス事業所
の新設
(平成28年度：69ヶ所新設、
雇用創出323名)
※介護保険サービスを一体的に行って
いる事業者は介護保険サービス事業所
分に含む

介護保険サービス事業所の新設



平成 28 年度の取組状況

企業訪問・来訪状況

企業訪問・来訪件数 13,554 件

(平成 28 年度 企業訪問件数 9,236 件、来訪件数 4,318 件)

<参考> 平成 27 年度 11,409 件

(平成 27 年度 企業訪問件数 7,124 件、来訪件数 4,285 件)

【主な内容】

- ・現在の業績状況把握
- ・今後の事業展開の内容（採用計画、海外展開、事務所移転検討など）
- ・自社製品の販路拡大に関する相談
- ・新たな事業展開に際しての協力依頼
- ・人手不足の状況などに関する影響把握

新成長戦略の出前講演実績

件数 199 回 延べ人数 13,141 人

(参考：平成 27 年度 147 回 延べ人数 12,794 人)

【主な説明先】

市長講演

- ・西日本工業倶楽部
- ・北九州市女性団体連絡会議
- ・内外情勢調査会
- ・北九州地域労働者福祉協議会
- ・九州経済連合会 北九州地域委員会
- ・北九州商工会議所
- ・小倉工業倶楽部
- ・北九州建築設計監理協会

第8回北九州市新成長戦略推進懇話会 議事要旨

日時：平成29年3月29日（水）14時～16時
場所：ホテルクラウンパレス小倉 2階

【高齢者雇用について】

- ・高齢者でスキルを持った経験者を、フルタイムでなく時間を制限した形で活用するというような「柔軟な働き方」が重要である。
- ・65歳から75歳までの方がフルタイムでもなくていいので、仕事を出来る環境を提供するのが、我々中小企業の役目だと思って取組んでいる。
- ・高齢者の雇用の関係で行政に頑張って貰いたいのは、元気に働けるよう健康寿命を上げて欲しい。そして、元気に働けるアクティブシニアをしっかりと作って欲しい。

【女性活躍の推進について】

- ・女性が仕事復帰などをする際に、リモートワークや在宅勤務ができるということは大事なポイントである。
- ・子育てをきっかけに会社を辞めた女性は、元の会社に戻るよりも新しい仕事をしたいことがほとんどである。10年後の就職や創業する時に有利な資格はIT関係である。

【若者の地元就職・定着について】

- ・学生の地元就職を促進するためには、企業が発信したいことを発信してもらう必要がある。例えば2、3分のビデオを作ってネット上で流すことで学生の反応もあると思う。
- ・北九州の空き家率が非常に増えているので、学生を対象として、ホームシェア&ジョブアカデミーということで、住むという日々の日常の暮らしと、そこで人とのつながりができて、実務を学ぶ場所を1カ所でできるように考えている。

【生産性の向上について】

- ・自社にテレワークを導入した当初は、生産性が上がるか心配していたが、大変頑張ってくれた。逆に会社に来た方が生産性が悪いと感じた。それは、電話対応、来客対応などがあるため、会社に来た人に会社手当や雑用手当のようなものを考えている。
- ・生産性の向上については、経営者には当たり前のことだが、従業員の人間になぜ生産性の向上が必要なのか理解して貰う必要がある。
- ・人口減少を過度に悲観すべきではない。北九州全体のパイの拡大を目指すのではなく、1人当たりの経済規模、市内総生産を増やすことを目標にしたら良いのではないか。
- ・SNSを多様に活用しており、クラウドでのミーティングを積極的に取り入れていきたい。

【国際ビジネス人材について】

- ・国際ビジネス人材の採用に関しては、入管の手続きや住居の確保など難しい点があるので、もっと簡単に出来れば良いと思う。

【その他意見】

- ・IoTやテクノロジーという考え方と、人脈、人の縁などをどのようにバランスをとるかということが喫緊の課題である。そして北九州スタイルというブランドをつくっていくということをそれぞれの立場から進めてもらいたい。